C/O Osaka Higashi YMCA 3-1-18 Mikuriya-Minami Higashi-Osaka JAPAN 577-0034 http://kawachi-ys.org



The Y's Men's Club of

OSAKA-KAWACHI

Chartered Sep.29. 1975

"To Acknowledge The Duty That Accompanies Every Right"

2012年11月報

Vol. 445

11 月 1 日発行

主 題 クラブ主題 阪和部主題 西日本区主題

スローガン

スローガン 際 主 題

クラブ・部・区・アジア地域・国際 2012-2013 年度 "Let's Enjoy the Y's Life" 会長 宮本桂子「ワイズライフを楽しもう!」

正野忠之「元気に みんなで」 スローガン「10年後の阪和部へ、つながる」 成瀬晃三 "Let's Y'smen Light Shine before Others

In the club, in the community, in the world"

"先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で" "Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"

"ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう"

アジア地域主題 地域会長 Oliver Wu (台湾)

"Years bring wisdom"「歳月は Y's をワイズ(賢者)にする」 "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ま 「行動が活力を呼び覚ます」

国際会長 Philip Mathai (インド)

"Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」 "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合う」

スローガン

「現在の心理状態」

芳澤 伸之



ご無沙汰しております。只今、 私はサラリーマン生活の中で 最大限に忙しくしております。 3年に一度の介護保険法改正。 今年はその影響をもろに受け てしまいました。徹夜をすれど 追いつかず、休日返上の仕事で も追いつかず。

はっきり言って只今パソコン

恐怖症に陥っております。この二日間は飲まず食わず。 とうとう敵前逃亡。目前の義務から逃げている。やら なければならない事から逃げているんです。そして、 逃げている自分を誤魔化したり、理屈をこねて正当化 したり。喜怒哀楽があるようで、塞ぎ込んでいる時が あります。充実感がないので、表情から生気が徐々に 消えて行きます。他人の忠告を聞き入れず、独りよが りになりがちです。逃げずに正面から立ち向かうしか ありません。やらなければならないことは、やるしか ないんです。結果は関係ありません。するか、しない か、ただそれだけのことです。だから、すれば治るん です。しかしこの魔物に抵抗して気晴らしに京都・東 福寺に座禅を組みに行ってきました。でもこんな心理 状態で座禅を組んでもだめですね。

色々な邪念が邪魔をし、とうとうコックリコックリと。 和尚から警策で叩かれたが棒が逸れ右耳を直撃。只今、 耳帯をしながら現実と向き合っています。

「今月の聖句」 マタイによる福音書 5章15節 「ともし火をともして升の下に置くものはいない。燭台の上に 置く。そうすれば家の中のものすべてを照らすのである。その ように、あなた方の光を人の前に輝かしなさい。」



- ワイズの活動を誇りとし、 それを周囲に輝かせるPRの 大切さに心がけましょう -

【11月例会プログラムご案内】

日時:11月15日(木) 18:30~20:30

会場:サンホーム6階

強調月間 "PR & Wellness"

司 슺 田中惟介 君 開会点鐘 会長・宮本桂子さん ワイズソング : 同 加藤寿枝 さん 聖句朗読: ゲスト・ビジターご紹介 司会者 会長の時間 : 会長・宮本桂子さん 食前感謝 : 新本英二 君

講話

『ホビの予言・デニス バンクス・和歌山原発』

奥野 誠氏 インフォーメーション 当該者 誕生・結婚記念日お祝い: 会長・宮本桂子さん にこにこアワー メネットさん YMCAの歌

閉会点鐘: 会長・畠平剛志 君 報告: 岩坂 正雄

日 時:2012年10月18日(木)18:30~20:40

会 場:大阪東YMCA サンホーム 6階

出席者:メン・伊藤圭介、岩坂正雄、加藤寿枝、佐古至弘 正野忠之、新本英二、杉村 徹、田中惟介 中野義彦、藤井敬子、丸尾欽造、宮本桂子 望月 強、横田憲子

メネット・伊藤玲子、新本力子、中野涌子、初田真佐子 丸尾初子、

ビジター・中村隆幸 (大阪センテニアル)、小池晃・寺岡博 也 (大阪サウス)、濱田 勉(奈良)

ゲストスピーカー・ 石黒 修 (富士ゼロックス大阪) 以上24名

■司会・横田憲子メンが定刻に開会を告ぐ。本日が命日である 故初田稔ワイズメンを覚えて黙祷。宮本会長による開会点鐘、ワ イズソング、聖句朗読(中野義彦メン)、ビジターとゲストスピ ーカーの紹介。

■会長の時間

- ・ゲストスピーカーの石黒さんとは 1 年ぶりの再会で企業の社 会貢献活動を学べるのは嬉しい。
- ・9月22日の阪和部会は、正野部長所属のホストクラブとして大成功。多くの方から賛辞と評価を頂き各位のご協力に感謝します。
- ・10月8日の大阪Yチャリティランには河内クラブを通じて 2チーム9人が参加した。奈良Yが予定しているチャリティ ランにも協力を。
- ・阪和部新年合同例会が和歌山で予定されている。
- ■食前感謝祈祷(岩坂メン)を捧げて食事懇談。

■インフォーメーション

- ・中村隆幸氏 大阪センテニアルが30周年記念例会を11月 17日(土)に開催、天江喜七郎氏(元外交官)の講演にご期 待下さい。
- ・濱田勉氏 奈良 Y チャリティランを 1 1月3日(祝) に実施、 くじ付き協力券のご協力を。(16 セット 16,000 円の協力が ありました)



▲石黒氏のプレゼンテーションも見事な奉仕活動の一端でした



▲今日の出会い、つないで、つむいで ・・・と語る石黒さん

- ・小池晃氏 地域奉仕・環境事業主査として、ゴミ問題啓発プログラムを大阪市ごみ焼却舞洲工場で実施するのでご参加を。
- ・正野阪和部長 先月の阪和部会をリーダーと共に実施できた こと、ホストクラブとして成功させて下さって感謝します。
- ・杉村 徹 チャリティランでは昼食提供や運営に協力下さって 感謝します。東YMCA創立40周年記念会が11月11日 (日)に開催される。
- ・加藤ワイズ 第12回ロビー展が別紙チラシの通り開催される。表彰式は1月例会で行う。
- ・望月メン ジャガイモは目標を超えて724ケース、かぼちゃは目標をやや下回って44ケースの申込み。
- ・田中メン クリスマス例会(於リッツ・カールトン)申込は 18名、20名に向けてご協力を。

■ゲストスピーチ 石黒 修 氏

紹介者の丸尾メンよりボランティア運動の「心の師匠」としてその人柄、性格を紹介され、パワーポイントと資料(ゼロックス印刷)「富士ゼロックス大阪 社会貢献活動への取り組み」などを用いて内容豊かなスピーチをされた。

- ・会社の端数倶楽部(給与の100円未満を活動資金に寄付) のアイデア。
- ・授産施設、福祉作業所の工賃改善のための活動 会社の 広報展示会で作業所の製品を記念品に提供し、受け取った人 の記念写真を作業所に届け、双方から感謝され社員の営業教育にも役立っている。
- ・会社のある中央区のビルの公開空地の利用 授産品の販売、音楽演奏(オカリナ)、メロンパン販売など、また駐輪整
 - 理、清掃などの奉仕活動、これらが大阪市福祉部の評価を 得てシティ・マルシェが実現。大阪市の御堂筋デザインス トリートにも参加して朝日新聞に報道された。
- ・CSR = Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)は、個人のPersonal な社会的責任意識に立つべきだとの考えから、「つないで、つむいで、さぁ・・・みんなでいっしょに、たのしくやりましょう!」をモットーとしている。・地域での活動組織としてCFK(中央区フィランソロピー懇談会)も立ち上げた。
- ■結婚、誕生祝い、ニコニコ献金、YMCAの歌、会長による閉会点鐘をもって散会。

第38期第5回役員会報告

報告・書記 大谷美佐子

2012年10月25日(木) 19:00~20:30 東YMCA・

出席者: 宮本・田中・中野・藤井・畠平・伊藤・横田・望月 岩坂・新本・加藤・大谷

1 1月例会 11月15日(木) サンホーム PM 18:30 ~20:30

A班担当

ゲスト: 奥野 誠氏

テーマ:対談 「ホピの予言・デニス バンクス・和歌山 原発」

1 1 月例会役割分担

聖句朗読 田中 君 加藤 君 望月 食事手配 君 食前感謝 新本 君 メネット 君 君 会計中野・藤井 受 付

音楽担当·会計兼任

12月号ブリテン原稿

11月例会報告 望月 君

11役員会報告 大谷美佐子 君

Yニュース重信直人さんサンホームニュース杉村 徹 君巻頭言大谷 美佐子君

原稿最終締切は 11月 25日です

審議事項・報告・連絡事項

《審議事項》

- 1. 11月例会に関して 担当 A班
 - ・ゲストスピーカーと司会者とで対話形式で進める。
- 2. クリスマス例会について
 - ・10/25現在の参加者 18名・
 - ・会長より例会日変更(日時、場所)を区と部に連絡する 、ホームページにも記載する。

田中

- 3. ロビー展について 加藤
 - ·開催日 12月22日(土)~1月17日(木)
 - ・作品締切12/21(金)・展示作業12/22 (+)
 - ・展示作品のタイトルは田中メンが作成する。
- 4. ロビー展写真応募について(海外) 伊藤
 - 協賛作品として写真を展示する。
 - ・オゼルキクラブや他のロシアクラブ&済州クラブ に案内を発信する・・・・伊藤
- 5. 次期副会長推薦に関して 横田
 - 横田委員長より経過報告があった。
- 6. 奈良YMCAチャリティーランについて 宮本
 - ·第1回 11月3日開催
 - ・望月メンが1チーム参加(望月、田中メン参加)
 - ・当日の応援・・・正野・横田・中野・伊藤メネッ ト
- 7. DBC締結について EMC 交流 岩坂・大谷
 - ・最初は気楽に相互訪問できて交流を深め広げられ る近い所で進めることで意見が纏まる。
 - ・遠い所もその後考えて行く。
 - ・DBCを希望する旨を阪和部交流主査に報告と手 続きが必要・・・・・宮本会長より提出する。
- 8. 車いす登山に関して(4月28日・日曜日)

- ・中野事業委員長が多忙のため委員長の変更を申し 出・・・・事業委員にて話し合う。
- 9. 東YMCA40周年に関して
 - ・11月11日 午後3時~6時 : 於サンホーム
 - クラブよりお祝金3000円が承認された。
- 10. じゃがいも&かぼちゃ販売に関して 望月
 - ・今年度は じゃがいも 600箱 ぼちゃ 48箱 を販売
 - ・食生活にじゃがいも3箱、かぼちゃ4箱を寄付・・・ 承認
 - ・到着当日のお弁当代10、000円・・・承認

《報告事項》

- 1. 大阪YMCAチャリティーラン
 - ・参加者 宮本、新本、正野、藤井、横田、佐古丸尾、丸尾メネット、伊藤メネット
- 2. 第2回評議会 会長より報告(別紙資料あり)
- 3. 納涼例会会計報告・・・藤井会計より報告(別紙資料あり)
 - ・オークション売上 56,200円 (内10,000 0円北九州災害支援に献金)
- 4. 大阪センティニアルクラブ30周年記念例会 参加者 伊藤、横田

《連絡事項》

- 1. 大阪YMCA130周年 10月27日(土)
- 2. じゃがいも到着 10月27日(土) 午前9時
- 3. 奈良チャリティーラン 11月3日 (土・祝) 午前 9時から午後1時
- 4. 阪和部会評価会 11月1日 (木) 第2例会 午後7 時から
- 5. 東北を食べて飲んで語る会 11月18日(日) 午後 1時半から午後4時半 希望ヶ丘教会(泉北Y 'S)
- 6. 西日本区メネット事業 12月15日(土) 午後1時 から午後5時 和歌山YMCA
- 7. 新年合同例会 1月12日(土) 12時から午後3時 ホテルグランヴィア和歌山
- 8. なごみ 10月 11月 中止
- 9. 隠岐部フェスタ 11月10日(土) 11時から午 後9時 八戸ノ里小学校

以上

12 月クリスマス例会

12 月 16 日 (日) ザ・リッツ・カールトンで 開催します

会費:¥12,000 19時~21時 登録締め切り 11月30日 多数ご参加ください ご登録先は下に記載しております

めくるめく ひとときを! 仲間たちと ともに・・・

席に余裕があります。他クラブの Y's メン、友人 知人もこの機会にご参加くださいますようお声がけく ださい。ご登録、お問い合わせは

090-3940-1919 田中惟介まで

大阪河内ワイズメンズクラブ 例会担当委員会

特別寄稿

東日本大震災被災手記 避難生活1年を迎えて… (中)

手記:森松 亜希子

2. ~大阪での1年~

そんなわけで、私たちは震災で、自宅と家財道具のすべてを失ってしまいました。 そして、震災直後の原発事故による放射能 汚染が深刻で、福島での生活再建をすることができず、やむを えず、家族バラバラの福島・大阪の二重生活をする道を選びま した。 それが昨年の5月のことです。

大阪に避難してきてちょうど1年が経とうとしていますが、まだ夢の中にいるようで、早く地に足の着いた生活を送りたいと切に願っているのですが、 やはり、この二重生活が自分の中では様々な負担となっているようで、なかなか落ち着いた生活、震災前の普通の日常を取り戻すには至っていません。

幼い息子と娘の健康を考えて決意した二重生活ですが 想像以上に厳しい避難生活が続いています。

二重世帯の維持(つまり家賃、光熱費の2重払い)と 夫が幼い 子どもたちに会いに来る為の移動交通費がかさんで 経済的負 担が家計を圧迫しています。

ですが、原発から60キロメートルほど離れている郡山市は、特に避難勧告や避難指示が出されるでもなく、全くの「自主避難」であるため、国や自治体からは何の補助も受けていません。しかし、福島県郡山市は、精一杯除染した所でさえも 放射能量測定器の示す値は目を覆いたくなる数値を示しており、現実は、公園での砂場遊びなどもってのほか、子どもたちを買い物や通園であっても 少しでも外に出すのも恐ろしいと言いますか、普通に子育てを出来る環境とはとても言えません。

一年経ってもその現状は何ら変わらず、 むしろ個人レベルで測 定器を持っているため、 現実から目を背ける事も出来るはずも なく、 本当に事態は深刻だと思うのです。

いっそ、妊婦さんや乳幼児のいる家庭だけでも 強制的に避難退 去命令とかを出してくれたらいいのに… と、何度思ったか知れ ません。

素人目にも非科学的だと思われる除染作業にばかり マンパワーとお金をつぎ込んで、ガレキをせっせと全国にまき散らすなど 非合理的なことこの上ないと思うのです。

汚染地帯からはガレキを運び出すより、 「人」(将来のある子どもたち) を、それこそいくらお金を積んでも出すべきだと 切実に思います。

夫はこの1年、月に一度、子どもたちに会えれば良い方で、 1 ヶ月以上会えない時もありました。

単身赴任や海外赴任のお父さんを持つご家庭と同じなんだ!と自分に言い聞かせて日々の子育てをしていますが、「いつまで」という任期があるわけでなく、おそらく相当長期に渡ってこの生活が続くと考えると、子どもの精神面での影響が心配で、本当に福島を出て来て良かったのかしら…とこの1年、何度悩んだかしれません。

お父さんが大好きな息子を引き離してしまったのは本当に正しかったのか?

まだ震災当時、生後5ヶ月だった娘はほぼ父親を知らないで育ってしまって 今後の父娘関係に影響は出ないだろうか?

なによりも、家族の為にたったひとりで福島に残って 子どもの 寝顔さえ毎日見る事が出来ない生活をしている夫の精神状態は 本当に大丈夫なのだろうか?

休みがあれば、700キロ以上離れた大阪まで1人高速道路を車で飛ばして子どもたちに会いに来て、大阪では24時間も滞在しない(できない)で、また同じ道をろくに休まずに運転して戻る…せっかく会いに来てくれた父親ですが、子どもたちには「お父さんはお仕事と運転で疲れてるから寝かせてあげて!」と声を上げる私は母親として何をやってるんだろう???とか…震災以降、親子共々、心も身体も休まるところがありませんでした。

福島に残れば目に見えない放射能の恐怖におびえ、出たら出たで、不安定な生活と家族バラバラの日常を強いられる・・・ 普通の福島県民としての暮らしが あの日以来、一変してしまいました。

それでも、避難して丸一年が経ち、本当に徐々に、ですが、この現状を受け入れ、前を向いて歩いていこうとはしています。 震災から一年以上経過し、公的支援もどんどん打ち切られて行く中で、現状を受け入れるしかない、ということもちろんありますが、関西に避難して、今まで母子3人で何とかやってこられたのは、いまだ被災者、避難者の事を忘れず心にとどめて下さっている方々がいてくださるおかげです。

どのような支援も、本当にありがたく、感謝するばかりなのです。

特にありがたかったご支援を具体的に申し上げますと、例えば、 外遊びが大好きな子どもたちですが、 日々の生活がやっとで、 土日や休日でも子どもたちをどこかに連れて行ってあげるなど 全く出来ませんでした。

そのような中、大学生のボランティアのお兄さんやお姉さんが 子供たちと遊んでくれるという企画などは、親子共々、心底あ りがたかったです。

また、夏にはキャンプなどに子ども達を招待してくださり、子 どもたちは、大きいお兄さんやお姉さんと遊んでもらえたら、 本当に喜びますし、せっかく放射能汚染のない大阪に来たのに キャンプや川遊びとか、 赤ん坊を抱えてでは、私ひとりではさ せてあげられないので、本当にありがたく思います。

また、普段、子どもたちと関わってあげられる大人は私ひとりきりなのに、日々の生活を回すのが精一杯で、子どもたちにはあまり構ってあげられないのが可哀想で、心苦しく思っていたのですが、皆様のお力をお借りして、また、たくさんの方々に子どもたちとふれあっていただけたら、それが母子避難をしている私たち親子にとって、なによりの、一番望んでいる支援となります。

本当にありがとうございます。

他にも、引越しやらでも男手がなく大きな家具を運搬することもままならない状況に、社会福祉協議会の方が手を貸してくだ

さったり、引越し荷物の片付けなどをする間、赤ちゃんの面倒を地域の保育ボランティアの方が見てくださったり…と、本当に様々な方々に様々な方法で、色々助けていただきました。 関西で受けたご支援には、本当に感謝してもし足りないくらいで、なんとお礼を申し上げて良いかわからないくらいです。 本当にありがとうございました。

また、社協の方が届けてくださる被災者向けの情報誌で、被災者・避難者の交流会があることも知ってからは、そちらに参加させていただき、苦労や悩みを分かち合うことができ、それが私の心の拠り所、心の支えとなっています。

交流会で、同じ境遇の被災者、避難者の方たちと出会って、自 分だけではないのだということを知り、ともすれば孤立し、誰 にも相談できない悩みなどを聞いてもらったり、また話たりす ることで、どれだけ救われているかしれません。

(~大阪での1年~ は、更に次号に続きます)

大阪東 YMCA 開設 40 周年

感謝記念礼拝と懇談会のご案内

大阪東 YMCA

運営委員長・新本英二

館 長・松野時彦

平素より弊会諸活動にご理解とご支援を賜わり心から 感謝申し上げます。これまでの皆様の多大な励ましと 参画により、お陰さまで開設 40 周年を迎えました。 つきましては、YMCA を支えて下さった方々とともに、 これまでの歩みを振り返り未来について語りあう機会 をかきの通り予定しておりますので、ご臨席たまわり ますようご案内申し上げます。

記

日時 2012年11月11日(日)15:00~18:00

場所 大阪東 YMCA (サンホーム)

577-0034 東大阪市御厨南 3-1-18

内容 I 部 15:00 感謝記念礼拝

Ⅱ部 15:30「東大阪の地に種がまかれ」

岩坂 正雄 氏

(元大阪 YMCA 副総主事)

「演奏」弦楽四重奏

ボランティアリーダー他

Ⅲ部 16:30 懇親会

現在、40 周年記録誌の作成を進めています。みなさんがお持ちの東 YMCA の歴史を後世に伝える品 (例 写真、Y グッズ) があればお持ちください。

参加費 1000 円 (通信費、周年記念誌作成費作成の 一部にさせていただきます) 寄付は大歓迎!! 準備の都合上、出欠の有無を返信ハガキにて 10 月 30 日までにお知らせください。

以上

2012-2013年度

第24期 第2回評議会 報告

日 時:2012年10月13日(土)

13:00~15:30

場所: 大阪南YMCA401号室

評議事項

第1号議案 第1回評議会議事録承認の件

第1回評議会議事録について承認を横田書記から求められ、全員一致で承認された

第2号議案 第24期阪和部会計中間報告

第24期阪和部会会計について望月会計から中間報告がなされた。全員一致で承認された

第3号議案 奈良・和歌山YMCAチャリティーラン支援 奈良・和歌山YMCAチャリティーランの支援について正 野部長より予備費の10万円から支援金を出したい。この 費用は、例年ユースコンボケーションに使っていたが、こ れについては、阪和部会の余剰金を使う。また、この支援 金については、今年度は、予算化されていないが、来年度 からは予算化されるであろう事もふまえる。以上提案がな された。審議の結果、各チャリティーランに2万5千円ず つ、計5万円を支援する事で、承認された。

第4号議案 スペシャルオリンピック広告掲載の件

スペシャルオリンピックの委員会からの広告掲載の依頼を うけ、正野部長より予算化されていないが5千円の広告を 出したいとの提案があり、全員一致で承認された。

協議報告事項より

第23期阪和部決算報告、阪和部会報告がなされた。

阪和部特別会計の検討について

正野部長より、今年も特別会計が残ってるが、時代の流れ とともに意義等が薄れてきている。一般会計に入れてしま うのがいいのかどうかについて、各クラブで議論して欲し いとの提案があった。

緊急連絡網(訃報連絡時の対応)については、

会長へTEL番によるショートメールにて送る事で早い対応が可能となるので、採択する。

以上

報告義務者 : 会長 宮本桂子

メネット短信

11月の「手作業集会」は、15日(木)及び29日(木) いずれも午後2時から6F・C教室です。



体育の日 好天の下 チャリティーランを満喫す

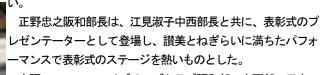
これ以上の秋晴れはない。日ごろのあわただしい生活から心身にこびりついた汚れが秋空高く吸い上げられていくような気分だ。10月8日、この時期、大阪城公園の木立は紅葉への変化にはまだ早いようで、特にあの黄金色に染め上げられる銀杏がまだその華麗な姿で走者を応援してくれないのはちょっぴりさみしく思う。レンズを通していつもアングルに入れていたものだ。

大阪YMCAに関わる様々な立場の人たちが、老若男女を問わずに、ひとつのプログラムに集まることはこの「チャリティーラン」をおいて他になく、日ごろの疎遠を一気に解消できる

全体で、順位制レースに13チーム、宣言タイム制に38チームのエントリー。大阪東YMCAからはサンホーム、桃の里幼稚園を含めて6チームが参加することができた。順位制では野田中学陸上部「マッキーズ」が優勝、(37分59秒)、MOMONOSATO SWIM TEAM が49分49秒で完走、拍手に迎えられた。

宣言タイム制では、人気の仮装レースがこの大会の花である。 徳島 Y M C A からは「阿波踊り」が例年通りの登場、ザ・リッツ・カールトン大阪からも大きなライオンや西郷隆盛が会場の人気を博していた。チーム名は把握できていないが、「千と千尋の神隠し」がプロデューサー、スタッフ共々に一座をなして周りの注目を浴びていたのは圧巻である。サンホームチームは、お仕事がらみの設定で、要介護とおぼしきお婆さんが杖車を押して走りつなぎ、さりげなく使命感の一端をご披露された。その他エントリーされていた各チームはそれぞれに趣向を凝らして大会を盛り上げたのは言うまでもない。

コースの中でも特に人通りが多い「青屋門」付近は危険を避けるために今年から通過しないことになり、コース設定に大幅な改善策がとられた。このことで混乱が生じないかと思われるふしもあったがスムースにプログラムが展開できてたことに感謝したい、。その裏には、各ワイズメンズクラブの皆さんをはじめ多くのボランティアの方々のお働きがあったことに感謝したい。



大阪YMCA、ワイズメンズクラブ阪和部・中西部、日本YMCA国際賛助会の主催に加えて、地域行政や公共諸団体の後援をいただき、今回も多くの企業、団体、個人の方々から支援をいただき充実した内容で参加者が満喫できたことは喜ばしい限りである。与えられた支援金は、¥3,343,355。数字が記されたボードが奥田時夫実行委員長から末岡祥弘総主事に贈呈され、頭上高く掲げられた。

今回、大阪河内クラブからボランティアとしての参加者が意外に少なかったことが少し気になるが、参加者は、宮本桂子、横田憲子、藤井敬子、伊藤玲子、丸尾初子、新本英二、佐古至弘、正野忠之、丸尾欽造の9名。河内クラブから抽選会での幸運者が生まれなかったことを付記しておきたい。

レポーター : まるおきんぞう













ウォーカー:横田憲子

10月21日 [日] ユネスコ世界遺産の熊野古道を発心門王 子より5K歩き熊野大社のお参りをしました。泉北クラブ遠藤 道寛メンの車で鶴橋を6:30に出発し、帰宅は途中和歌山ラ ーメンを食べるも9:30となる遠い道のりをワイズのみなさ まのおかげで時間の長さを感じない運動と会話の1日でした。 熊野古道では、ボランティアガイドや地域婦人部の当番制の茶 店での心よりの歓迎、そしてトイレの管理などとても好印象で した。又わたらせ温泉で癒しもできました。でも途中、昨年の 田辺地域の豪雨による山崩れや河岸や家屋の崩壊は今でも恐怖 を感じさせる光景でした。さらに今年の台風16号の影響で熊 野大社周辺の家屋が1メートル以上の水没に遭ったという話を 聞きました。広範囲になった田辺市ですが復興工事の進むこと を願っています。

参加した26名の中で身体の傷を気遣いながら自分のペース で歩かれている方々も、青空のもと、絶景なる山々の静かな古 道を賑やかにガンバッテ上り坂・下り坂のウエルネスディーを 楽しみました。紀ノ川クラブの皆様お世話になりました。次回 の計画は何でしょうか?河内クラブからは正野メンと2人参加



▲秋の一日、歴史をしのび熊野古道を巡る阪和部健脚隊ご一行様

- 11月例会 ゲストスピーカー プロフィール 奥野 誠氏 (オクノ マコト)
- 1953年2月 大阪で生まれる
- 1975年 武蔵野美大 卒中之島美術学院講師を務める。
- 1983年 和歌山県龍神村で芸術による村おこしとして「国 際芸術村」オープン
- 1984年 龍神村へ居を移す。
- 1986年4月 チェルノブイリ原発事故発生。日高原発建 設予定地との地理的関係から反対運動に関心を 持つ。
- 1987年 デニス バンクスと出会う。Long Walk (広島 ~泊)の和歌山地域を支援する。

十勝からの使者



ジャガイモ到着

10月27日朝、十勝の貴公子「男爵」と「カボチャ」が東Y MCAに着いた。予定されていた9時より早く、8時前に到着。 駆けつけた多くのワイズメンは荷降ろし作業に間に合わず、残 念がるやら安堵するやら。今年は、女性軍が仕切る。宮本会長 が支配人?としてどんと構え、横田さん、藤井さん、他に宮本 さんのお伴の方など積み込み作業の中心的なお働きでありまし た。男性諸氏は、ジャガイモを満載して三々五々お客様へ向け て出発していきました。ジャガイモをご堪能くださいませ。



10月例会の余韻 ニコニコ語録集



▼寺岡博也:富士ゼロックス社の体質に感銘を受けた。▼寺岡 晃: 資料の写真に息子の大学関係者が載っていて嬉しい。

▼濱田勉:初田さんの命日に出席できたことは感謝。▼中村隆 幸: 行政の任まで担う民間ボランティアの大切さを学んだ。

▼横田憲子: スペシャルオリンピックスの奉仕で文句を言わず 前向きのゼロックス社員の姿勢に感銘した。

▼岩坂正雄:ボラ ンティア団体であるYMCAは今日のお話に学ぶところが大き い。▼石黒修:みなさんと出会えて、これからの私の「つむぎ」 の出発点としたい。▼杉村徹:いろんなところにチャンスがあ ることを学んだ。「山の子ども」の替え歌が出来た。▼丸尾初子: TVの「ちちんぷいぷい」で石黒さんのお働きが紹介されてい ました。▼藤井敬子: 「ちちんぷいぷい」 に出ていた人が今日の 石黒さんであったことびっくりしました。▼伊藤玲子:午前4 時に起床、和歌山から出勤されて社業を全うされた上にボラン ティア活動に取り組んでおられる石黒さんのエネルギーに驚い ています。▼初田さんの命日で濱田さんもおられて12年前の 西日本区理事時代のことを思い出します。▼以前に、中央環状 線道路のゴミ清掃に行政の許可が得られなかったが、石黒さん のように 1 年半がんばればよかった。▼望月 強: 奈良Yのチ ャリティランに 1 チーム参加しませんか?▼田中惟介:健康器 具スピンスライダーを特価で購入して腰痛が改善した。正野忠 之: 私の会社でも今日のお話を活かしたい。新本英二:配布さ れた資料もとてもよくできている。

速記記録・岩坂正雄

今月の強調月間メッセージ 11月 "Pubric Relation & Wellness "

ワイズデーは外部に活動内容をアピールするよい機会です。行政、他団体と積極的に関わりを持ち、幅広く 広報されるような活動を行いましょう。

吉村秀喜 広報事業主任(長浜)

第12回 サンホーム ロビー展

期間 24年12月22日~25年1月17日 応募料 1点につき500円 全てYMCAのクリスマス献金に捧げ られます 応募締切 12月21日(金)厳守

写真応慕要項

- ・作品は写真に限ります
- ・テーマは「ワイズライフ」「旅の想い出」その他自由
- 表彰は、阪和部長賞、会長賞 その他多数
- ・表彰式は河内クラブ1月例会 (2013年1月17日) に て行います
- ・審査は、写真家・河野正雄先生と来場者の評価点にて 行います
- ・作品は応募票を添えてサンホームへお持込みまたは ご送付してください
- ・応募票等、詳しくは河内クラブホームページを検索 してください

大阪河内ワイズメンズクラブ

会長・宮本桂子 ロビー展実行委員長・加藤寿枝

Happy Birthday

該当者はおられません

Wedding Anniversary
11月 2日 佐古至弘·利子 夫妻
11月27日 望月 強·治子 夫妻

第38期 2012/2013年 クラブ役員

会 長・宮本 桂子 Yサ・ASF・畠平 剛志 副会長・畠平 剛志 地域奉仕・芳澤 伸之 直前会長・横田 憲子 EMC ・ 大谷美佐子 書 記・田中 惟介 ファンド・佐古 至弘 大谷美佐子 交 流・岩坂 正雄 会 計・中野 義彦 広 報・伊藤 圭介 藤井 敬子 メネット・丸尾 初子

連絡主事・杉村 徹

会計監查・岩坂 正雄

| 会 員 数 | 19 名 |
|---------------|-----------|
| (特別メネット会員数) | 1 名 |
| 10月例会 会員出席者 | 14 名 |
| メイクアップ | 2 名 |
| 9月の出席率 | 84.2 % |
| ゲスト・ビジタ―出席数 | 5 名 |
| メネット・コメット出席数 | 5 名 |
| 例 会 出 席 者 総 数 | 24 名 |
| 役 員 会 出 席 者 数 | 12 名 |
| 10月延べ出席者 | 36 名 |
| 10月ニコニコファンド | 21,400 円 |
| 同 今期累計 | 62, 100 円 |

2012 11 Nov. >> 12 Dec. スケジュール

1 1月 1日(木)・クラブ第二例会 19:00~21:00 「阪和部会評価会」

11月 3日(土)・奈良YMCAチャリティラン

生駒山麓公園 9:00~13:00

11月11日(日)・東YMCA40周年の集い

15:00~18:00 サンホーム

1部 感謝記念礼拝

2部 講演 岩坂正雄 氏 演奏 弦楽四重奏

3部 懇親会

参加費 ¥1000 要出欠通信

1 1月15日(木)・クラブ第一例会 18:30~20:30

・メネット手仕事会 14:00~C 教室

11月17日(土)・大阪センテニアルクラブ

3 0 周年記念例会

ホテルグランビア大阪

14:00~17:00 ¥8000

登録締切 10月15日

11月18日(日)・東北を食べて飲んで語る会

13:30~16:30

希望ヶ丘教会(泉北クラブ)

1 1月22日(木)・クラブ役員会 19:00~21:00

11月24日(土)・大阪市ゴミ焼却施設見学(阪和部)

11月29日(木)・メネット手仕事会 14:00 C教室

12月 2日(日)・東YMCAクリスマス会

12月 6日(木)・クラブ第2例会 19:00~

12月13日(木)・クラブ役員会 19:00~

12月16日(日)・クラブ第一例会・クリスマス会

19:00~21:00 登録費 ¥12000 ザ・リッツ・カールトン大阪H

登録締切 11月30日

12月20日(木)・クラブ第二例会(1月分前倒し) 12月21日(金)・サンホームロビー展出展 締切日

12月22日(土)・サンホームロビー展 (12/22~1/17)

発行者:宮本桂子 編集者:丸尾欽造 ホームページ: http://kawachi-ys.org/